

いまや、ビジネスにおいてワープロソフトといえば、マイクロソフト「ワード」がスタンダード。その豊富な機能の中にはまだまだ知られていない裏ワザが隠されています。この連載では、そんな便利なワザを紹介していきます。

Yamada Kyoko
山田恭子

※画像と操作説明はWindows 7、Word 2010をもとにしています。

コメントを印刷 されないようにするワザ

ワードでコメント機能を上手に活用している人は多いでしょう。コメントの付け方は非常に簡単で、コメントを付けたい文章の一部をドラッグして選択し、リボンの【校閲】タブの「コメントの挿入」をクリックします(図1-①)。するとコメントの入力ボックスが表示されますので、ここにコメントを入力。これだけで文章の枠外にコメントが追加されます(図1-②)。

しかし、コメントは付けたいけれど、印刷されるのは困る、という場合もあります。そんなときは次のように設定します。

まず、リボン左端の【ファイル】タブをクリックし、左メニューから「印刷」を選択します。そして右画面の「設定」項目で「すべてのページを印刷」を選択し、表示されたメニューの「ドキュメントのプロパティ」項目で「変更履歴/コメントの印刷」をクリックして(図2)、チェックを外せばOKです。これで、右側に表示されているプレビュー画面からもコメントは消えます(図3)。この状態で印刷すれば、コメントは印刷されません。

なお、印刷ではなくワードの編集画面で

■図1■



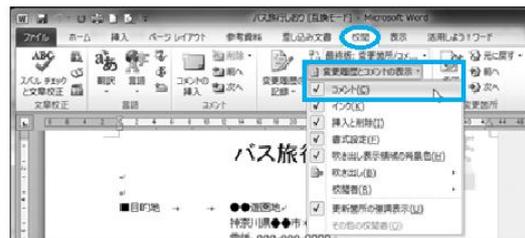
■図2■



■図3■



■図4■



コメントを非表示にするには、リボンの【校閲】タブの「変更履歴」グループにある「変換履歴とコメントの表示」をクリックし、「コメント」のチェックを外せば（前ページ図4）、コメントが一括で非表示になります。

ちなみにコメント自体を削除したい場合は、コメントを選択後、【校閲】タブの「コメント」グループから「削除」をクリックするか（図5）、削除したいコメントを右クリックして表示されるメニューで「コメントの削除」を選択するだけです。

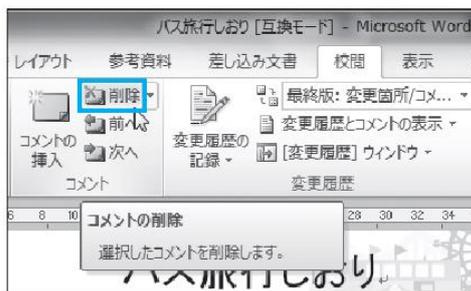
指定した文字列だけ印刷されないようにするワザ

一方、コメントではなく、文章の中のある文字列を指定して、印刷時にその文字列だけ非表示にすることもできます。これには「隠し文字」機能を使います。

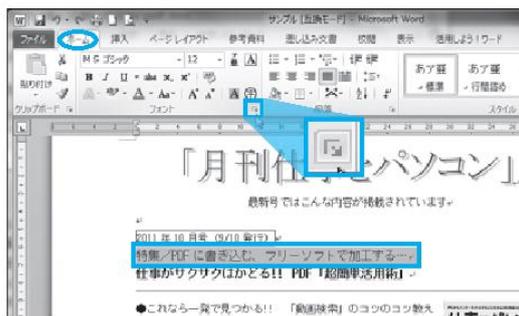
まず文章の中から、印刷したくない文字列をドラッグして選択し、リボンの【ホーム】タブの「フォント」グループ右下にあるダイアログボックス表示ボタンをクリックします（図6）。すると「フォント」ダイアログが開きますので【フォント】タブを選択、「文字飾り」項目で「隠し文字」にチェックを入れ、[OK] をクリックします（図7）。これで指定した文字列が非表示となり、印刷されなくなります（図8）。

その上で、隠し文字をつねに画面に表示しておきたい場合は、リボンの【ホーム】タブの「段落」グループにある「編集記号の表示／非表示」をクリックして、表示／非表示をスマートに切り替えるとよいでしょう（図9）。これで画面上の隠し文字は鎖線の下線で表示され、印刷時には表示されなくなります。

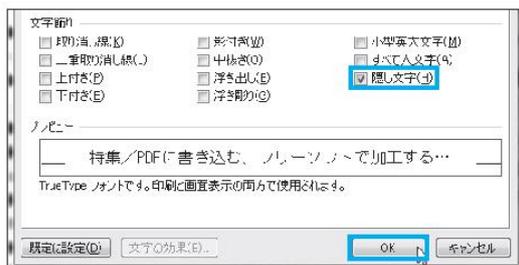
■図5■



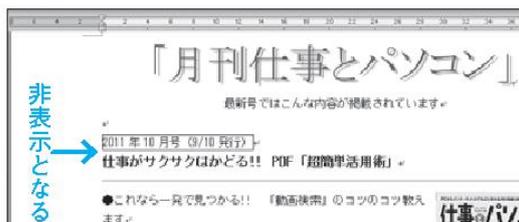
■図6■



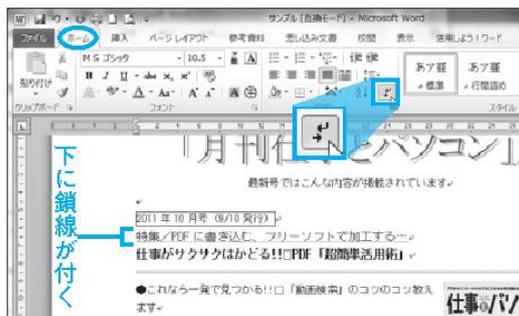
■図7■



■図8■



■図9■



「仕事に使えるフリーウェア」ガイド

フリーウェアとは、無料で提供されているソフトウェアのこと。おもにインターネットから手に入れることができます。企業がサービスとして、個人が腕試しのために作ったソフトなど、その作成の背景はさまざまですが、中には仕事で活躍しそうなソフトもたくさんあります。この連載では、仕事で使えるフリーウェアを毎月1つ紹介していきます。

※画面はWindows 7をもとにしています。

Yagi Shigekazu

八木重和

今月はコレ!



今月のフリーウェア

「フォルダ監視」

作者名：tukaeru

ダウンロードURL：http://www10.plala.or.jp/tukaeru/soft/index.html

対応OS：Windows 98/2000/Me/XP/Vista/7（8動作確認済）

仕事の場面では、1つのファイルを複数のユーザーで共有し、作業をすることがあります。たとえば1つのExcelファイルは仕事の進捗状況が記録されていて、各担当者はそれぞれの分担が終わったときに終了したことを記入するような使い方があります。また、1つの書類を確認したときに、自分のサインや印鑑に代わる情報を記入して次に回覧するような場合も、1つのファイルを複数のユーザーが参照します。

会社ではネットワークを使っていることも多く、仕事の効率化に合わせて1つのファ

イルを共有する作業は増えています。

そこで今回は、フォルダーを監視して更新された場合に通知する「フォルダ監視」を紹介しましょう。特定のフォルダーの状況を監視して、その中に保存されているファイルが更新されると自分のパソコンに通知が表示されます。前述の例のように、1つのファイルを共有して仕事をしている場合、他の誰かがファイルを更新したことをすぐに知ることができ、必要な自分の作業を遅れなく進めることができるようになります。

フリーウェアをダウンロード

「フォルダ監視」は特定のフォルダーを監視して、保存されているファイルが更新されると通知してくれるフリーウェアです。「フォルダ監視」を使い、共有しているファイルが保存されているフォルダーを指定すれば、ファイルが更新されたときに通知が届き、すぐに次の仕事に取りかかれます。

「フォルダ監視」は作者のホームページからダウンロードします。リンク先はVectorのホームページとなり、「zip」形式の圧縮ファイルになっていますので、ファイルをダウンロードしたら適当なフォルダーに解凍します。解

凍したファイルの中にある「foldersl (.exe)」をダブルクリックして起動します（次頁図1）。

フォルダーの更新状況を監視

「フォルダ監視」を起動したら、はじめに設定をします。初回の起動時にはスタートアップに登録するメッセージが表示されます。[はい] をクリックしておく（次頁図2）、以降はWindowsと同時に起動するようになり、パソコンを起動している間は指定したフォルダーをつねに監視できます。

「フォルダ監視」を起動して表示される設定画面で「追加」をクリックして（図3）、

※インストールや利用は各自の責任において行なってください。万一、不具合が生じても弊誌ではサポートをいたしかねます。

監視するフォルダーを登録します (図4)。

フォルダーを登録したら、監視する時間の間隔を設定して [監視開始] をクリックすれば、フォルダーの監視が始まります (図5-①)。設定画面で「サブフォルダも監視」のチェックをオンにすると、サブフォルダも監視対象になります (図5-②)。

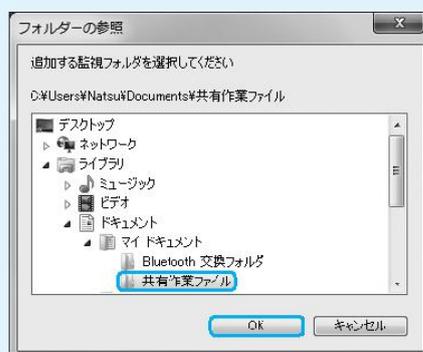
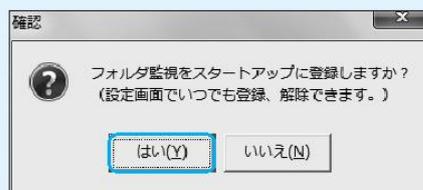
「フォルダ監視」が起動している間は通知領域にアイコンが表示され (次頁図6)、アイコンをダブルクリックすれば設定した時間感覚とは関係なくすぐにチェックできます。

もし監視しているフォルダーのファイルが変更されると、「フォルダ監視」の「変更ファイル一覧画面」が表示されます (次頁図7)。画面にはファイル名、更新日時に合わせて、「備考」欄に追加や更新などファイルがどのように変更されたか表示されます。もしこのファイルを開いて編集したい場合は、ファイル名をダブルクリックします。ファイルを選択して、画面下の「フォルダを開く」や「ファイルを開く」をクリックしてもそれぞれ開くことができます (図7-①)。

なお別の作業に集中しているときなど、監視を一時的に停止したいときには、通知領域のアイコンを右クリックして「監視の一時停止」を選択します (次頁図8-①)。これで登録しているフォルダーの監視を一時停止します。また「フォルダ監視の設定」 (次頁図8-②) を選択して設定画面を表示し、登録しているフォルダーのチェックをオフにすると (次頁図9)、フォルダー毎に監視の一時停止を設定できます。

ファイルの種類を指定して監視

共有しているフォルダーに保存されてい



るすべてのファイルを監視対象にすると、不要な変更も「フォルダ監視」がキャッチして更新情報が表示されてしまいます。そのたびに画面が現われるとかえって煩わしく、仕事の妨げになるかもしれません。そこでファイルの種類を絞り込んで、監視するファイルを絞り込みましょう。

通知領域のアイコンを右クリックして「フォルダ監視の設定」を選択し、設定画面を表示します。ここで「詳細」を選択して、設定画面を詳細モードに切り替えます。続いて左側のメニューから「対象ファイルの設定」をクリックします(図10)。

「監視対象」では変更の内容を選択します。ファイルが削除された場合に通知が不要であれば、「削除」のチェックをオフにします(次頁図11-①)。

特定のファイルを監視対象にするには、「次のファイルのみ対象にする」のチェックをオンにして、「追加」をクリックします(次頁図11-②)。ファイルの種類を表わす条件を入力して「OK」をクリックし(次頁図12)、ファイルの種類を登録します(次頁図13)。条件を指定するときは、「ワイルドカード」と呼ばれる記号を使うと便利です。「*」は任意の文字列、「?」は任意の一文字を示し、たとえば次のような指定方法があります。

*.xls	任意のExcelファイル (Excel 2003まで)
*.xlsx	任意のExcelファイル (Excel 2008以降)
*.???x	Office 2008以降のWord、 Excel、PowerPointファイル (.docx、.xlsx、.pptx)
2013*.*	名前が「2013」で始まるすべてのファイル



図6

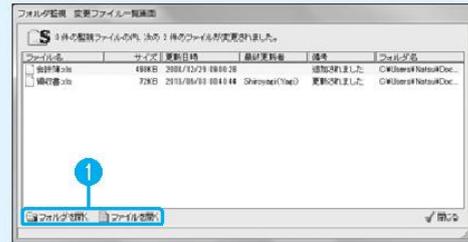


図7

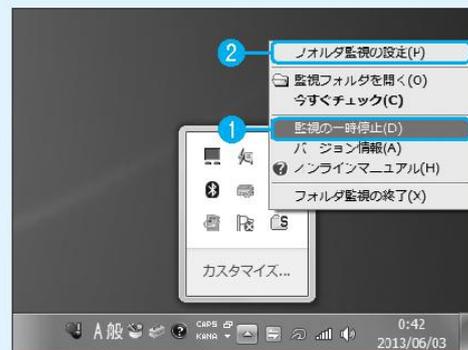


図8

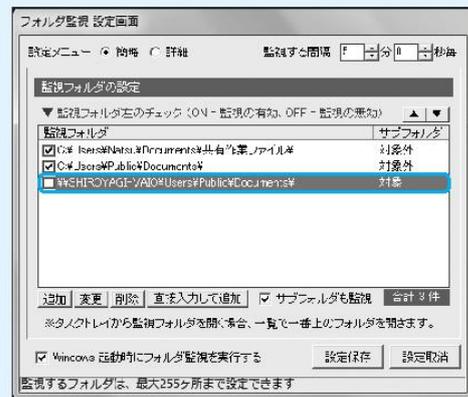


図9



図10

さらに「監視フォルダ毎に対象ファイルの設定をする」のチェックをオンにすれば、フォルダごとにファイルの種類を指定して、より細かい監視ができるようになります(図14)。表示されているフォルダを選択して「フォルダ毎に設定する」をクリックし、監視するファイルの種類を登録します。「区分」が「共通」になっているものは、上に表示されている共通の設定を使用します(図15)。

もう1つ、特にネットワークを使う会社のパソコンで便利な設定をしておきましょう。左側メニューの「その他の設定」をクリックして、「監視するフォルダにアクセスできない場合、メッセージを表示する」のチェックをオンにして、「毎回表示する」を選択し、任意のメッセージを入力します(図16)。この設定をしておくと、ネットワーク上の共有フォルダを監視している場合に何らかの原因でネットワークが切断されるとメッセージが表示されるようになります。更新のチェック漏れも防ぐことができます。ただし外出して持ち歩くノートパソコンなどでこの設定を指定してしまうと、外出中に頻りにメッセージが表示されてしまうので、使用はあくまで机上のパソコンで行なってください。

1つのファイルを複数のユーザーで共有する作業はグループワークや大きなプロジェクトで頻りに行なわれる操作です。「フォルダ監視」を使ってファイルの更新状況を素早く把握すれば、速やかに次の仕事の実行できるようになり、仕事の効率や生産性がアップするでしょう。

図11

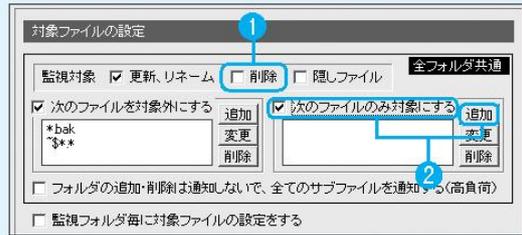


図12

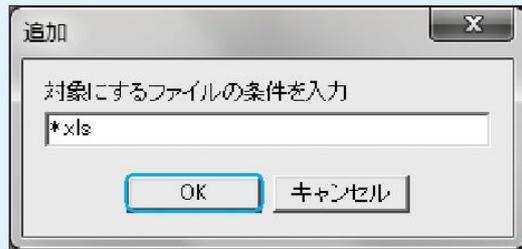


図13

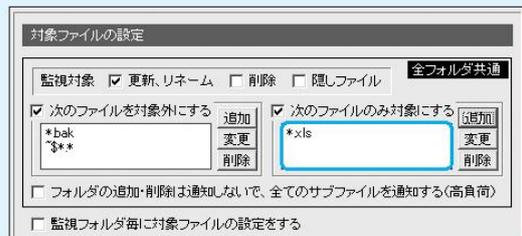


図14

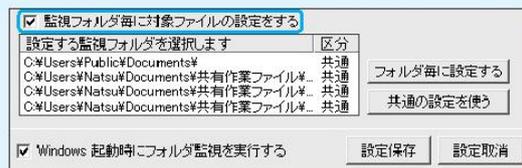


図15

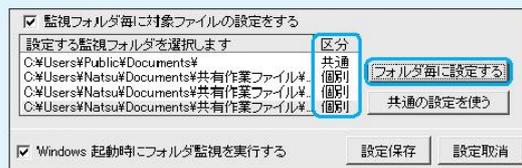
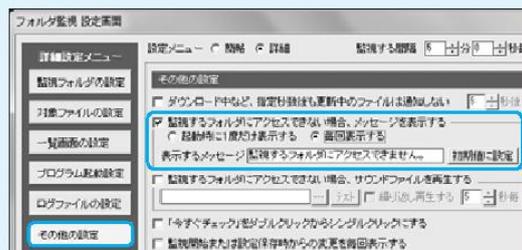


図16



新子明希（あたらし はるき）

1972年、大阪府生まれ。1991年から個人事業主として教材販売をスタート。宝飾品や防犯機器等の販売を経て、2007年6月にI・コンサルティング株式会社を設立。同年8月、店舗の空席を利用して初回限定のお試しプランを体験できるサイト「トライフィールコレクション」の事業開始。2011年、株式会社シンクスマイルに社名変更。卓越した営業力と人材力で、6年連続増収の快進撃を続ける。

はい。19歳から25歳までの6年間、結婚と妻の出産、離婚、そして一緒に仕事をしてきたチームの解散を経験しました。家族がバラバラになり、仕事がなくなり…。ハードな状況でしたが、幸いにも当時の私はまだ若く、営業なら誰にも負けないという自負がありました。もう一度新たなスタートを切ろうと決意し、会社を設立しました。

若い頃の私のモットーは、「いかに物を楽しく売るか」。19歳からの教材販売に始まり、宝飾品や防犯機器の販売を手がけましたが、全て黒字を出すことができていました。その後改めて、「どう売るか」に加えて「何を売るか」という理念が大事だと気づきました。

その理念の元、シンクスマイルの前身であるI・コンサルティング株式会社を設立したのは2007年。景気が悪く、物やサービスが売れない時期でした。当時は大阪の個人店や飲食店に向けてポイントカードのシステムを販売していたのですが、大阪の街をもっと元気にしたい、人とお金を動かすサービスを作りたいと、常に模索する毎日でした。

なかなか集客できない状況の中でも、店舗の経営者の方々は口をそろえて「一回でも来てくれたら店のファンにする自信があるのに…」と言うんです。そこでひらめいたのが、ユーザーがお試し価格で店のサービスを利用できるサイトの運営でした。

こうして、現在の当社の事業の主軸である「トライフィールコレクション（トラコレ）」のアイデアが生まれ、準備期間を経て2008年4月にサイトをオープンしました。

「スタート当初の反響はいかがでしたか。」

今でこそ「トラコレ」と似たようなサイト

は多くありますが、当時は初めてのサービスでしたので、「大幅な割引価格でユーザーにサービスを提供するメリット」を店舗の皆様に理解してもらうまでに時間を要しました。

トラコレでは平均70%オフ、たとえば1万円のプランは初回限定価格3千円で提供します。店側が何の手も打たなければ収益がゼロのところを、お試しでも来てもらえればリピーターにつながる可能性があり、リピーターにならなくても改善点をアンケートでフィードバックしてもらえ。店舗の空き時間を利用して集客とモニタリングを両方実現できるというビジネスモデルです。

「トラコレが事業として成り立つかどうか、勝算はあったのでしょうか？」

そうですね。当社が意識したのは、ホワイトフラッグマネジメント—戦わない経営です。われわれのような小さな会社が他社と同じことを真似しようとする、よりクオリティの高いサービスをより安く提供する必要があり、資本を持つ大企業には勝てません。しかし、誰もやっていない「お試し」という事業で勝負すれば、勝率は高いと思いました。

当社は2007年に会社を設立した時点で、3つのルールを決めました。第一に「人と同じことはしない」、第二に「損する人がいない」、そして第三に「私たちが面白いと感じられるかどうか」。トラコレはこれら3つのルールを全てクリアしたサービスです。

トラコレの開設当初は、登録店舗数200、会員数はわずか17人でした。その後の社員一同の地道な努力で、サイトオープンから1年経過した時点の2009年4月に会員数

が1万人を突破し、2010年4月には10万人を突破。同年3月の時点で累計黒字化を達成しました。現在は飲食店をはじめ美容室、エステ、高級ホテルなど、契約店舗1万店以上、会員数20万人を突破しています。

契約店舗と会員数が増えた要因は何だったのでしょうか？

やはり当社の社員の営業力と販売力のおかげですね。彼らの頑張りで、現在も月に200店のペースで契約店舗が増えています。

余談ですが、私が社員に伝えている営業ノウハウの一つは、17歳の時のアメリカ遊学で身につけたものなんです。滞在していた古いアパートメントのエレベーターで、背の高い黒人青年と居合わせたのですが、その時「俺は仕事をクビになって2日間何も食べてない。むしゃくしゃするから今からこれでお前を刺してやる」とナイフを突きつけられたんです。その時、私の口からとっさに出た言葉が「ちょうど良かった！」でした。「今から朝メシを食べに行くから、一緒に行こうよ！」。きょとんとする彼を連れてハンバーガーショップに行き、大量のハンバーガーをおごってあげて、事なきをえました。あの時パニックのあまり「ノー!!」と叫んでいたなら、一体どうなっていたか分かりません。

この時の経験から、シンクスマイルの営業スタンスは「ちょうど良かった」。お客様の主張を常に受け入れ、決して否定語では返しません。たとえば「うちは広告費をかけられな

い」と言われたら「ちょうど良かった、完全成果報酬型なので固定費は全くかからないんです」など、柔軟に切り返すんです。

この気付きのおかげもあり、順調に売上を伸ばすことができました。あの時の彼に再会したら、お礼を言いたいくらいです。

社員全員のやる気を向上させる 独自システム「CIMOS(シーモス)」

現在の事業内容を教えてください。



創業当時からの「トラコレ」運営に加え、スマートフォンにショップカードやポイントカードを一括インストールできるサービス「Ziriri」を昨年の9月からスタートしました。トラコレとZiririを活用してのコンサルティング業務も行っており、今後はこちらにより力を入れていく予定です。

社員が店舗と共に歩み、共に泣けるほどの密接な関係を構築していきたいと考えています。

今年5月には、独自の社員評価システム「CIMOS(シーモス)」の販売をスタートされましたね。

もともとこの評価システムは、当社の社員の意欲向上のために開発したものです。

当社は2011年に社名を「シンクスマイル」に改名しました。フランス語で「5」を表わす「CINQ」を、「考える」をイメージする「シンク」と読むことで、「5つの笑顔を考える

会社」という意味が込められています。その時、多くの方々に笑顔と感謝の気持ちを返すために、10の行動指針を掲げました。それを社員にゲーム感覚で楽しく実践してもらう仕組みが、シンクスマイルモチベーションシステム、略して「シーモス」なんです。

具体的には、コミュニケーション、スマイル、成長など20の「バッジ」を設定していて、社員の行動や長所に対して、社内外の人間がバッジをウェブ上で送り、評価を客観的に数値化することができます。そしてバッジの獲得数が、昇給や昇進に反映されます。どの企業にとっても、社員一人ひとりの人事査定は頭を抱える問題です。「CIMOS(シーモス)」に興味を持った他社の要望を受けて1月にセミナーを開いたところ、非常に大きな反響をいただき、外部に向けてシステム提供することにしました。



6期連続増収を果たしていますが、「CIMOS (シーモス)」の果たした役割も大きかったのでしょうか。

もちろんです。社員が褒め合い、感謝し合い、自分で考えて動き出していく。それがチームのパフォーマンスを最大化することは、当社が「CIMOS (シーモス)」を実践したこの2年間で実証しています。

昨年度のある新入社員は、入社して9ヵ月で計280個ものバッジをもらいました。9ヵ月間、毎日誰かに褒められ続けてきたことになり、このことは本人の大きなモチベーションアップにつながったはずですよ。

現在の課題と今後の展望を教えてください。

今後、当社はアイデアカンパニーとして発展していきます。面白いこと、ワクワクすることは、人を大きく動かす力を持っています。そんな力のあるサービスを世の中にリリースしていきたい。それにはもっと社内の皆の知恵を集める仕組み作りが必要です。これが今の最も大きな課題であり、その解決策の一つとして、昨年は開発部を立ち上げました。日本で5人、ベトナム支社で5人の10人体制で開発に取り組んでいきます。

当社は小規模なので、「人・物・金」のうち物・金こそありませんが、胸を張って誇れる「人」という財産があり、信頼できる素晴らしい社員が揃っています。これからも「したことない。をへらす」というビジョンの元、社員一同で「楽しさ」を追求していき、ワクワク、ドキドキできるサービスを提供していきたいと考えています。

取材を終えて

「トラコレ」「シーモス」など、これまでになかったユニークなサービスを展開するシンクスマイル。その根底には、あくなき「楽しさ」への追求がありました。「今、『仕事』という言葉でネット検索するとネガティブな関連ワードばかり並びます。仕事とは本来すごく楽しいもの。その楽しさをもっと世の中に伝えられたら」と語る新子社長の真摯な表情が印象的な取材でした。

仕事に役立つ ウェブサイト

Weblio 類語辞典

<http://thesaurus.weblio.jp>

文章を書いているときなど、(こういう意味の言葉で、なにか別の表現があったよなあ、なんだっけ?)と思うことはありませんか? 文章の収まりを考えると、そのほんやりと思いつく言葉を使いたいけれど、どうしてもはっきりと思いつけないときって本当にモヤモヤしますよね。

そんなときに活用していただきたいサイトが、今回ご紹介する「Weblio 類語辞典」です。様々な言葉の類語・同義語、縁語を検索できるサイトです。

さっそく詳しく見てみましょう。

Weblio (ウェブリオ) ってどんなサイト?

そもそも、このWeblioとはいったいどんなサイトなのでしょうか。FAQを見てみると「複数の辞書や用語集を一度に検索して表示できる、統合型のオンライン辞書サービス」とあります。このWeblioには、「類語辞典」以外にも、英和和英辞典や古語辞典のように一般的なもの、業界別辞典や食べ物辞典などのように専門的なものなど、じつにさまざまな辞書が各企業や団体から提供されています。そして、それらの辞書

「びっくり」「仰天」「驚嘆」
しっくりくるのはどれ?



を横断的に検索することができるのが、このWeblioの特徴なのです。

今回取り上げる「類語辞典」は「類語玉手箱」や「日本語WordNet」から提供を受けた辞書がメインになっています。

検索してみましょう!

では「類語辞典」で、試しに「迷う」という言葉を検索してみましょう。

サイト上部の検索欄に「迷う」と入力して「項目を検索」ボタンをクリックすると、検索結果が表示されます。

そうすると、まずは、同じ「迷う」という言葉でも、「道に迷う」や「判断に迷う」、「心が迷う」、また「色香に迷う」などの用例があることが分かります。その、それぞれの用例により、言葉の意味するところが変わりますので、類語・縁語も、それに合わせて取り上げられています。

「道などに迷う」の類語・縁語として「迷子になる」「途方に暮れる」などが挙げられ、「判断・決断などに迷う」の場合は「決めかねる」や「ためらう」などが挙げられています。このように、用例が複数

